

# 平成30年度 福井市国見小学校 スクールプラン



## めざす児童像

- ・くじけない心と体
- ・にこにこなかよし
- ・みんなで学び合い

### ・教育推進のポイント・

- 隣接小・中学校による9年間教育の推進
- PDCAによる学校や個人目標の達成
- 保護者・地域との協力体制構築

福井市学校教育目標 ★未来を切り拓く力★  
「郷土福井に誇りを持ち たくましく生きるこどもの育成」

## 学校教育目標

ふるさとを礎に 生きる力を育む  
夢と志を抱く児童の育成

## 学校目標の背景

- 【地域の願い】 地域の拠点になる学校に
- 【保護者の願い】 基礎学力 国見を愛する子
- 【教師の願い】 少人数に負けない学校作りを自立した児童に
- 【学校の特色】 隣接小中学校 協力的な地域
- 【児童の実態】 真面目で素直 やや受け身

研究主題「自ら考え 判断し 行動する 自立した児童の育成」

= 夢や目標の実現に向けて見通しを持ち 努力を続けるための支援はどうあるべきか =

## 【重点目標と具体的取組み】

### 確かな学力の育成

- ◎主体性を育てる課題解決的な授業
- よりよい基礎基本の定着
- 学習ルールによる学習基盤の確立

### 学力向上研究テーマ

主体的に学ぶ子の育成

= 学びを深める対話的な活動を通して =

- ①話し合いによる主体的な授業
  - ・少人数における練り合いの工夫
  - 〈視点〉学びを深めるための学習形態  
学びが深まったか
- ②基礎基本を定着する取り組み
  - ・よりよく理解する学びのプロセス
  - ・満点をとる漢字、計算テスト
- ③小中で共通理解する学習ルール
  - ・学習ルールの設定と確かな実践
  - 【数値目標】
  - ・学びを深める研究と感じる職員 100%
  - ・GRTテストで県平均を超える教科 80%
  - ・学習ルールが定着したとを感じる職員80%

### 豊かな心・健やかな体の育成

- ◎夢を育むキャリア教育の推進
- フォロワー・リーダーシップの育成
- 強い意志による健康・体力の向上  
～自己有用感と自己管理能力～

### ①キャリア教育の推進

- ・夢や目標に向かって努力を続ける力
- ・総合学習、学校行事、学活の連携
- ②フォロワー・リーダーシップ
  - ・磨きあえる縦割り活動
  - ・思いやりある縦割り活動(人権)
- ③自分の考えを出し合う道徳教育
  - ・一斉道徳や葛藤教材の活用(人権)
- ④健康・体力の向上
  - ・自分の体は自分で守る意識の向上
  - ・チャレンジする運動への支援
- ⑤考え方を広げる読書活動の推進
- 【数値目標】
- ・将来の夢や目標を持っている児童 100%
- ・充実した縦割り活動とを感じる児童 90%
- ・運動にチャレンジできた児童 80%

### 信頼される学校づくり

- ◎地域・保護者との対話
- 郷土を愛する心の育成
- 地域・保護者に自立した児童の姿を

### ①家庭・地域との協働の推進

- ・保護者や地域と対話による学校改善
- ・家庭と連携した児童の生活や学習習慣の向上
- ・連携したネット利用、情報モラル教育
- ②郷土を愛する心の育成
  - ・地域各種団体との交流  
(国見大使：国見フェア・地区体育祭・地区文化祭など)
  - ・伝統や文化の継承
  - ・地域振興への発信(地域体験事業)
- ③教育活動の理解と連携
  - ・願いのわかる国見小だより
  - ・ホームページでの教育活動の発信
- ④自己肯定感の育成
  - ・達成感を味わうことで自信を持ち、自らチャレンジしようとするサイクルの構築
  - 【数値目標】
  - ・保護者は学校と対話できている保護者80%
  - ・地域との世代間交流ができた 職員80%
  - ・郷土を愛している子ども 児童100%
  - ・地域に自立した子どもを見せた 職員80%

### 協働する組織づくり

- ◎育てたい子ども像への実践
- 共通理解を図る現職教育
- 児童理解の充実
- 資質向上を図る実践

### ①職員の共通理解を促進

- ・めあてと手だての確認と実践
- ・終礼や職員掲示板の活用
- ・月曜日は会議(話し合い)の日
- ・児童の様子を把握し配慮する
- ・子どもを大切にす人権意識
- ②PDCAによる改善サイクル推進
  - ・学校行事評価表
  - ・学校評価との連動
  - ・視点を明確にした授業研究
- ③授業研究や自校研修の推進
  - ・めあてを明確にした研究授業
  - ・研修内容を職員に広める活動
  - 【数値目標】
  - ・共通理解が図れ協働する組織づくりができていると感じる職員 80%
  - ・PDCAによる改善サイクルができていると感じる職員 80%
  - ・育てたい子ども像への実践がなされていると感じる職員 100%

### 【業務改善の取り組み】

- ・ねらいによる行事等の重点と精選 ・定時退勤
- ・ゆとりある時程・ランチルーム化・職員の意思疎通

= 期待する成果 =

<児童>目標やめあてに向かって、見通しをもって取り組もうとする。  
<教師>ねらいや手だてを持った企画実践ができ、評価を改善に生かせる。

= めざす学校像 =

児童と教師がともにやりがいの  
ある、いきいきとした学校